



シルバー がさま



写真提供 福田猛氏

第22号

平成30年1月18日

発行 (公社)笠間市シルバー人材センター
編集 広報部会
住所 笠間市石井717番地
電話番号 0296-73-0373

平成29年度運営状況報告

(4月～11月)

会員数・就業状況

	男性	女性	合計
会員数	233名	98名	331名
就業実人員	191名	89名	280名
就業率	82.00%	90.80%	84.60%

事業実績

公共受注額	37,676,942円
民間等受注額	91,987,826円
受注額合計	129,664,768円
受注件数	3,118件



ご挨拶

理事長 小野 勝夫



明けまして
おめでとうございます。皆
様のご家庭に
おかれまして
は、お健やか
に新年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

当シルバー人材センターは、平成二
十四年に公益社団法人に移行し五年が
経過しますが、以前より引き続き皆様
のご支援を賜り、事業を順調に進めさ
せて頂きますことに対し厚く御礼申し
上げます。

さて、急速に高齢化が進んでいる
今、当シルバー人材センターでは現役
を退き、あるいは就業や社会参加をし
たいという意欲を持った三百三十余名
の会員が、地域の多岐に亘る期待に応
えるべく日々奮闘しております。会員
の平均年齢は七十一歳で、ここでも高
齢化が進んでいますが、健康、快活で

シルバー人材センターの「基本理念」

自主……センターを私達のものとして
考えます。
自立……センターを私達の力で育てます。
共働……私達はいつも一緒に働きます。
共助……私達は互いに助け合います。

熟年パワーを様々な場面で発揮してお
り、最高年齢は八十四歳、まさにシル
バー人材センターの役割の一つである
「生涯現役」で生きがいを持って活躍し
ております。

シルバー人材センターでは他にも役
割があり、それは活力ある地域社会づ
くりへの貢献です。

いろいろな経験を持つ方々が笠間市
にもたくさん暮らしております。シル
バー人材センターは、今後ともその人
達のキャリアや能力を十分活用させて
頂き、「自主・自立・共働・共助」の基
本理念を一層浸透させ、会員の就業を
通じて市民の皆様の役に立ちたいと
考えております。

会員、役職員共に「もう一度地元で
働いてみたいと思う会員の拡充」と「事
業実績の拡大」に努めて参ります。

今後とも皆様のなお一層のご支援、
ご協力を賜りますようお願い申し上げ
ます。

最後になりますが、皆様方のご健康
とご多幸を心からお祈り申し上げます。
新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



明けまして
おめでとうございます。
皆様方には、
お健やかに新
春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

旧年中は、笠間市の行政運営に
格別のご支援とご協力を賜り、厚
くお礼申し上げます。

さて、今般、政府が提唱する
「ニッポン一億総活躍プラン」に
おいては、「生涯現役社会」すな
わち「高齢者就業」の促進に向け
て、環境が整えられつつありま
す。改正高齢者雇用安定法の施行
により、シルバー人材センターの
業務範囲の拡張がなされたこと
は、「生涯現役社会」の実現の主
力機関として、地域に密着し、多
様な人材の宝庫であるシルバー人
材センターに大いに期待がかけら
れているということでございます。
また、就業を通して会員の皆
様一人ひとりの生きがいや社会参
加への意欲が促進されることが、
健康寿命に大きく影響することが
は、いまや実証済みとなっております。

現在、社会的には、少子化によ
る産業構造の変化により、私たち
の日常身近なところにおいても、
人手不足の危機感を覚えずにはい

笠間市長 山口 伸樹

られない状況でございますが、そ
のような中であるからこそ、会員
の皆様には、長年、国を支えてき
た豊かな経験と、血の通った丁寧
で巧みな技術をぜひ地域社会にお
いて発揮していただくことが、ま
さにシルバー人材センターの理念
である「自主・自立・共働・共助」
の達成であるとともに、地域活性
化に重要な役割を担うものである
と言えます。

笠間市では、健康で働き続ける
ために健康づくりへの個人の意識
が高まってきている中において、
この四月にいよいよ「地域医療セ
ンターかさま」が開設いたしま
す。この施設が、保健・福祉・医
療・介護の機能を併せ持ち、市民
の皆様が住み慣れた場所ので安心し
て生活ができることを目指すとい
う側面から、皆様の「生涯現役」
の実現に必ずやお役に立てるもの
と考えております。

併せて、シルバー人材セン
ターが、なお一層、会員の皆様の
働く意欲を掻き立てる就労先とな
るよう、更なる支援をしてまいり
ます。結びになります。が、シル
バー人材センターの益々のご発展
と会員の皆様方のご多幸とご健勝
を心から祈念申し上げます。年
頭のご挨拶といたします。

なかま



村上 小夜子
(岩間地区)

昨年十月より施設清掃に仲間
入りさせてもらいました。

スーパールの従業員を定年まで
続けて、その間山歩き、旅行、
食事会等楽しい思い出をつくれ
ました。

それ迄健康であったつもりが、
甲状腺眼症、狭窄症等を続けて
悪い、検査、入院、通院で一年
以上を外にあまり出ず過ごして
しまいました。元の体調に戻り
たい一心で、整体マッサージ、
リハビリ体操等色々ためして努
力しました。医師の許可もでて、
体力にも自信を取り戻した現在
は、ふれあいプールでのウォー
キングに通っています。

そんな時、何か社会での繋が
りが欲しいと思ってシルバーに
申し込みましたら、丁度空きが
出来、すぐに働く事になりました。
仕事をしてみて、生活の張
り合いになることを実感しま
す。ご指導よろしく願いま
す。



遠藤 真人
(友部地区)

平成二十九年七月にシルバー
人材センター会員となり、現在
は図書館の図書配送業務に三人
交代で従事しています。台車使
用時は通路のスロープや段差に
注意し、また車移動時は安全運
転に心掛けて作業しています。

旅行が趣味で、毎年夏にJR
五日間乗り放題の青春十八切符
を利用してローカル線電車で観
光地巡りやご当地グルメ等を楽
しみながら一人旅を満喫してま
す。十一月の互助会親睦旅行に
も初めて参加して、普段お会い
する機会のないパワフルな諸先
輩方と楽しく交流することが出
来ました。

また日頃の運動不足解消の
為、毎週木曜日に地元バトミン
トンサークルに参加し、いい汗
をかくて体力と筋力アップに努
めてます。これからも仕事をさ
せて戴いているとの気持ち忘れ
ずに、健康管理と体調管理に
努めて常に緊張感を持って仕事
に取り組んでいきたいと思いま
す。

二十周年記念式典における
功労者等の特別表彰授与

(公社)茨城県シルバー人材センター連合会
が、設立二十周年を迎え、昨年十月に記念式典
が執り行われました。その中で、センターでの
事業運営、活動に於いて多大なる功労が認めら
れた連合会役員および拠点シルバー人材セン
ター役員に感謝状が授与されました。

茨城県シルバー人材センター連合会長感謝状
連合会役員 入江通弘
SC役員 斎藤正澄・加藤善治

深田義弘・伊勢山勝利

派遣事業開始から一年

平成二十八年からスタートした、労働者派遣事業
が二年目を迎え順調に推移しております。当初笠
間市より受託致しました「区長文書配送業務」は、
友部・岩間地区のみだったものが、笠間市内全地区
に拡大、さらに、配送準備として、区長文書の印刷、
仕分け作業も承っております。昨年十一月からは、
市内図書館の図書の搬送作業も加わりました。
また、民間企業四社（すでに契約期間が終了し
た一社含む）から契約をいただき、就業者数も十
二名から延べ三十六名となりました。

今後益々変化する社会情勢において、シルバー人
材センターに求められる役割や期待は年々高まってお
りその中で、派遣事業の拡大は今後のシルバー人材
センターの在り方を決定する大きな柱となる事業で
す。笠間市シルバー人材センターでは、公共事業、
民間事業所に積極的に働きかけを行い派遣事業の
推進を図ります。



熊谷 輝彦
(笠間地区)

私は、長年お世話になりました市役
所を四年前に退職し趣味である小学生
を対象としたバレーボールの指導を行
っております。ただ練習日は週三回
であって他の日々の過ごし方がなく、
何かしたいとの気持ちから今年四月に
シルバーの登録をしました。

職種の希望としては、公共施設の管
理をお願いしましたが、人気があり、
第二希望として草刈と記入しました。
すると、事務所から連絡があり、草刈
の研修を受けるよう話があり、受講
後草刈作業に従事することになりまし
た。正直、初日二日目と慣れない作
業、気持ちの上でプレッシャーを感
じ、三日目の朝、腰が痛くてやめよう
かな?と思いましたが「負けるもの
か」との気持ちが勝り、早半年が過ぎ
ようとしています。この間、夏の間二
回ほど体調を崩し、又作業の中でも大
変迷惑をおかけしましたが、それでも
先輩方のあたたかいご支援をいただき
ここまでやってこられたことに大変感
謝いたしております。

これからは、技術を磨き、皆さんに
ご迷惑をかけないよう頑張っております。
今後共よろしく願います。

今後の入会説明会日程
及び開催場所のご案内

2月16日	笠間	シルバー人材センター会議室
3月16日	友部	友部社会福祉会館
4月20日	岩間	地域交流センター「あたご」
5月18日	笠間	シルバー人材センター会議室
6月15日	友部	未定

毎月第3金曜日午後2時から開催

事前のお申し込みが必要です。

その他詳細についてもお電話でお問い合わせ下さい。

会員募集中

笠間市シルバー人材センタ
ーでは、一緒に働く仲間を
募集しています。

会員になるには

- ①笠間市在住で六十歳以上で
健康で働く意欲のある方
- ②センター事業を理解し、セ
ンターの趣旨に賛同できる
方（一定の収入を保証する
ことはできません）
- ③センターで開催する入会説
明会を受け、必要書類を提
出した方。但し理事会にお
いて入会承認を得られた方

急募!!

官公署等で施設清掃の出来る方
草取りの出来る方
植木剪定の出来る方
夜間施設管理の出来る方

安全パトロールの実施

シルバー人材センターで
は、毎月一回安全な作業の
徹底と、安全意識啓発を目
的とし、パトロールを実施
しております。



お客様を交え作業手順・安全確認



前入江理事長・斎藤副理事長・深田理事

互助会だより

親睦旅行

志賀高原 湯田中温泉

平成二十九年十二月十三日～十四日

高橋 征男 (笠間地区)

互助会親睦旅行が再開されて二回目になりますが、五十八名の方が参加されました。

紅葉の山並みの中、高速道を乗り継ぎ長野県小諸市へと入り、リンゴ畑が連なる先の広大な庭園とブドウ畑のマンズワイン小諸ワイナリーに到着。大きな貯蔵タンクが立ち並ぶ工場で、製造過程、ブドウ栽培の説明の後工場見学。売店内の試飲コーナーで、テーブルに並べられたワイン、ジュース等試飲、それぞれお好みのものを買って物するなど楽しく過ごしました。

定刻に旅館に到着。ゆつくり湯船に浸かり、錦秋の山々を眺めながら露天風呂に入られたと思います。

午後六時からの宴会、自慢のノドにてカラオケ、ダンス、ヒョットコ踊り、全員輪になり星影のワルツを合唱、楽しい一時を過ごしました。

翌日は、国宝善光寺を参拝、全員無事帰着することが出来ました。

御協力ありがとうございました。尚、次回にも多数御参加されますようお願い致します。

ゴルフ同好会発足

これまでゴルフ好きの有志が集まりゴルフコンペを行っていました。が、互助会結成に合わせ、正式に「ゴルフ同好会」が発足され、第一回ゴルフ大会が開催されました。



事務局からのお知らせ

発注者の皆様へ

●平成30年度の作業(草取り・草刈・植木剪定等)のご予約を1月よりお受けしております。注文が集中する時期にはご要望にお応えできないこともございます。また、ご予約をお受けしても天候等で遅れる場合もございますのでご了承下さい。

フリーダイヤル

0120-73-4680

●昨年10月の茨城県最低賃金改定などにより、本年4月から現行の料金から2%程度値上げさせていただきます。詳細は、事務局にお問い合わせ下さい。

会員の皆さんへ

●昨年一年間の配分金支払い証明書をお送りいたします。確定申告の際に必要ですので、くれぐれも紛失されないよう大切に保管して下さい。

編集後記

新しい年を迎え、個々に目標を持たれる方も多いかと思います。私も、自分自身の目標を掲げ、その実現に向け頑張っていると思っています。

さて、定年制の延長などにより現在では六十五歳から七十歳になっても仕事を続けなければならない時代になっています。また、高齢化が進む中で、健康のことを考えるグラウンドゴルフなどを行い、地域の人と交流を深めている方も多いかと思えます。シルバー人材センター互助会では、年に一度旅行会を実施して、会員同士の親睦を図っています。今年は、長野県の湯田中温泉でした。

皆さん、健康のため、また経済的収入を得るため、入会して一緒に働いてみませんか！

広報委員 田邊 純